すぎのはらしな

森鷗外『椙原品』

名掛丁東名会　梅津惠一

仙台荒町の仏眼寺に江戸時代に絶世の人気を博した三浦屋の花魁、高尾太夫のお墓があると昔から話題になることがあった。それは三代藩主綱宗が江戸詰めの際に吉原に通い始め、そこで高尾太夫を見初め身請けしようとしたが断られてしまい、その腹いせに舟遊びに誘った際に、三股で切り殺してしまった、という俗説が世に広まり、この誤りを正すつもりで、江戸時代の女流文学者　只野文子（只野真葛）が高尾は綱宗に身請けされ、仙台に連れてこられて、この地に椙原という子孫を残したと『奥州話（奥州波奈志）』に書いたことからこのような誤解が後の世に広まった。ところが綱宗が通った遊郭は山本屋で、見初めた花魁の名は薫であり、身請けの話も作り話であったというから、どちらの説も全くの誤りであった。戦後、坂口安吾は仙台を訪れたときに、高尾は殺害されたと思い込んで「仙台には美人はいない。それは綱宗に殺された高尾の呪いだ」とあきれた暴言を吐いた。このような誤解が生まれたのは綱宗が幕府からの吉原通いの素行を咎められ、蟄居を命じられた後に起きた仙台藩の跡目争いが『伊達騒動』としてその時代の注目を浴び、芝居や歌舞伎に講談にと上演され、さらに多くの小説にもとりあげられた事に起因していた。興味を引くためにたくさんの虚飾が組入れられ、それがあまりにも人気を博したために虚飾が事実であるかの如く一人歩きをしてしまったのだ。

それでは仏眼寺にある墓はいったい誰のお墓なのかと興味を持ったのが以外にも文豪、森鷗外だった。鷗外は大槻文彦の調書でそのお墓が高尾とは全く関係のない椙原品のものであることを知り、小説『椙原品』で品の人となりを紹介した。品は綱宗の妾であった。綱宗には三沢初子という正妻がいた。寛文１７年生まれで綱宗と同年、品は１つ年上であったらしい。品は初子が亀千代を生んだ年に、２１歳で浜屋敷に仕えることになって、直ちに綱宗の枕席に侍したらしい。

左が仏眼寺　右は中央が椙原品の墓　写真提供：梅津氏

それは初子の産前産後の時期と思われる。とはいえ初子は清和天皇の第６子、源経基の血を引く三沢氏の出で、気立てが良く、見目麗しく、能書で和歌も詠み、二代藩主忠宗のお気に入りと非のうちどころのない娘だった。さらに初子が嫡男まで産んでいるところへ、側から入ってきた品が綱宗の寵愛を得たのは品によほどの魅力があってのことと、鷗外は関心を抱いたのだった。

雪薄紋（伊達家伯記念會）

椙原家は室町時代に幕府四職家と呼ばれた赤松家に代々仕えた家臣であったが、品の父守範は関が原の戦で敗者流浪の身となり、江戸で日道と言う盛泰寺の僧の娘を嫁にし、品が生まれた。１９歳の時に父が亡くなり寺に引き取られた。それから１年後万治２年に、品は浜屋敷の女中に抱えられて、まもなく妾になったらしい。言い伝えであるが、万治３年に綱宗が幕府から蟄居を命じられて、品川の屋敷に移った時に、品はお供し、綱宗に請うて１日の暇を頂いたそうだ。その日、品は日道を始め親類縁者を呼んでご馳走し、永遠の訣別をしたという。これは不幸なる綱宗に一身を捧げようとする決意であった。綱宗はその姿に感銘を受けて、品に雪薄（ゆきすすき）の紋を遣った。雪薄は伊達家の家紋であった。

品は一念を貫き、綱宗が７２歳で他界するまで忠実に仕え、後に尼となって、浄休院と呼ばれ、仙台にて７８歳で亡くなった。実に５０年にもわたる長い歳月を失意の綱宗のために捧げた品の人生であった。その品を鷗外は誠実であったのみならず、気骨のある女丈夫であったと褒め称えている。

品は晩年に中塚十兵衛茂文の娘　石を養女にして、熊谷斎（いっき）直清に嫁がせ、品の死後、直清の二男　常之助（家臣録では堂之助）が椙原の姓を継いだ。これによって父守範が亡くなって以来途絶えていた椙原家が再興した。現在、仏眼寺にあるお墓は高尾の墓ではなくこの一族のお墓だ。

鷗外は、伊達騒動が起きた後の失意の綱宗と優雅でおとなしい初子そして怜悧で気骨のある品の三人の複雑な三角関係を小説に描くことが最初のもくろみだった。「しかし私は創造力の不足と平生の歴史を尊重する習慣とに妨げられてこの企てを放棄してしまった。・・・
私は去年５月５日に、仙台新寺小路孝勝寺にある初子の墓に詣でた・・・仏眼寺の品が墓へは往かなかった」と書いてこの小説を締め括っている。

私も椙原品に興味を持ち図書館で調べたが、詳しい資料を見つけることはできなかった。綱宗は藩史に汚点を残した人だった。それ故に汚点にまつわる人たちも歴史の中から消えてしまったようだ。ただ仏眼寺を訪ね歩いて品の墓の前に立ち、手を合わせると、日陰ながら時代を生きた人のその姿が目に浮かんで不思議な感動を覚えた。

（　）は筆者補足

参考文献
『ふるさと文学館第５巻「宮城」』第３部伊達騒動　森鷗外著　椙原品

ぎょうせい　　1994.10